

1:10 ヨシュアは民のつかさたちに命じた。
1:11 「宿営の中を巡って、民に命じなさい。
『食糧を準備しなさい。三日のうちに、あなたがたはこのヨルダン川を渡るからだ。あなたがたの神、【主】があなたがたに与えて所有させようとしておられる地を占領するために、あなたがたは進むのだ。』」
1:12 その一方で、ルベン人、ガド人、およびマナセの半部族にヨシュアは言った。
1:13 「【主】のしもべモーセがあなたがたに命じて、『あなたがたの神、【主】はあなたがたに安息を与え、この地を与えようとしておられる』と言ったことばを思い出しなさい。
1:14 あなたがたの妻子たちと家畜は、モーセがあなたがたに与えた、このヨルダンの川向こうにとどまりなさい。しかし、あなたがた勇士はみな、隊列を組み、あなたがたの兄弟たちより先に渡って行って、彼らを助けなければならない。
1:15 【主】があなたがたの兄弟たちにも、あなたがたと同様に安息を与え、彼らもあなたがたの神、【主】が与えようとしておられる地を所有したら、あなたがたは【主】のしもべモーセがあなたがたに与えた、このヨルダンの川向こう、日の出る方にある自分たちの所有の地に帰り、それを所有することができる。」
1:16 彼らはヨシュアに答えた。「あなたが私たちに命じたことは、何でも行います。あなたが遣わすところには、どこでも参ります。
1:17 私たちは、あらゆる点でモーセに聞き従ったように、あなたに聞き従います。どうかあなたの神、【主】が、モーセとともにお

られたように、あなたとともにおられますように。

1:18 あなたの命令に逆らい、あなたが私たちに命じることばに聞き従わない者はみな、殺されなければなりません。あなたは、ただ強く雄々しくあってください。」

イスラエルの民はヨシュアを新しい指導者として、彼の支持に従いました。彼はモーセのような実績はありませんでしたが、主が彼を立てられたので、ヨシュアに従うということは主に従うことであつたからです。教会でも色々なイベントや活動によってリーダーになる人が存在します。誰が偉いというのではなく、それは主から与えられた役割です。

ヨシュアも主のみことばを聞き、従うことのゆえに15節のように希望を語ることができました。これがリーダーの資質です。どんな小さな働きのリーダーでも、人を励まして主のみことばを行おうという場合は、主との交わりが重要です。またそれゆえの希望による動機付けが大切なのです。

また民に関していうなら、そのようなリーダーに従うことが、その役割です。16節にあるように従うことができる人々がいることは、リーダーの存在にまさって重要で、主はそのような従順な人を求めておられます。そのような人は17~18節にあるように、リーダーをも励まして育てることができるのです。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあつて何を実践しますか？

